

日本、再生。
つよくやさしい日本を

参議院議員 経済産業副大臣・内閣府副大臣

古賀
友一郎 ゆういちろう

討議資料

私のこれまでの歩み

昭和42年11月2日生まれ(57歳)。

鎮西学院幼稚園、諫早市立御館山小学校、諫早市立諫早中学校、青雲高等学校、東京大学法学部を卒業。

自治省に入省し、自治省大臣官房、行政局公務員部、選挙部、自治大学校のほか、環境庁にも勤務。総務省に再編後は、総務省自治財政局、消防庁国民保護・防災部、自治行政局公務員部(高齢対策室長)のほか、内閣官房行政改革推進事務局にも勤務。この間、栃木県庁、和歌山市役所(財政部長)、岡山県庁(財政課長)、北九州市役所(財政局長)、長崎市役所(副市長)に勤務。

平成25年2月に総務省を退職し、平成25年7月の参議院議員通常選挙で初当選、令和元年7月の通常選挙で再選。

令和6年11月、第二次石破内閣にて経済産業副大臣兼内閣府副大臣(大阪・関西万博担当)に就任。

政府の主な役職

内閣府大臣政務官、総務大臣政務官
国土審議会離島振興対策分科会特別委員

国会(参議院)の主な役職

内閣委員長、環境委員長
外交防衛委員会筆頭理事、消費者問題特別委員会筆頭理事
議院運営委員会理事、予算委員会理事、決算委員会理事、憲法審査会幹事
農林水産委員会委員、総務委員会委員

自民党の主な役職

政務調査会副会長、総務部会長代理、農林、水産、国土交通、外交の各副部会長
少子化対策調査会事務局長、税制調査会幹事
組織運動本部安全保障関係団体委員長、一億総活躍推進本部主査
憲法改正実現本部事務局次長、憲法改正推進本部幹事
参議院政策審議会副会長、参議院国会対策委員会副委員長、参議院副幹事長
長崎県支部連合会会長

- 趣味:将棋(五段)、野球(大学時代は軟式野球部)
- 好きな食べ物:ちゃんぽん、うなぎ、そうめん
- 尊敬する人:上杉鷹山
- 座右の銘:得意淡然 失意泰然
- 家族:妻と娘一人

古賀友一郎事務所

長崎事務所

長崎市万才町2-7 松本ビル301号
TEL.095-832-6061 FAX.095-832-6012

東京事務所

東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1206号
TEL.03-6550-1206 FAX.03-6551-1206公式
ホームページ

ごあいさつ

私がこれまで2期12年にわたり参議院議員としての職務を遂行できたのは、ふるさと長崎県の皆様の温かいご支援のおかげであり、深く感謝申し上げます。

国も長崎県も山積する課題で正念場を迎えており、政治の停滞はいささかも許されない状況です。

それに関わらず、政治とカネの問題などで政治への信頼が失われています。

私は、我が党へのご批判を含め県民の皆様の声を真摯に受け止め、全力で諸課題に取り組むことで政治の信頼を回復し、日本と長崎県の未来を切り拓いてまいります。

どうか皆様のご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

古賀 友一郎



日本、再生。

～つよくやさしい日本を～



物価高・賃上げ対策

ガソリン価格の抑制など物価高対策に引き続き取り組むとともに、物価高に負けない賃上げを実現するため、特に中小企業における価格転嫁対策や取引適正化を推進する「下請法」の改正に取り組めます。

九州新幹線西九州ルートと交通ネットワークの整備

九州新幹線西九州ルートの全線フル規格化のほか、西九州自動車道、島原道路、富津防災道路、西彼杵道路、長崎南北幹線道路、国道34号拡幅、東彼杵道路、有明海沿岸道路など県内主要道路の整備、長崎港2バース化等の港湾整備に取り組めます。



農林水産業の振興

農業基盤や森林の整備、水産資源の確保・回復、事業者の経営力や物流体制の強化、就業者の育成・確保等を通じて「もうかる一次産業」を推進します。持続可能な農林水産業と、我が国の食料安全保障の確立に取り組めます。



水素社会の推進と半導体関連産業の振興

脱炭素社会に転換する「水素社会」を推進することで長期かつ広範な民間需要を創出し、投資と賃上げがけん引する経済成長と長崎の新産業創出を目指します。また、県内に半導体関連企業を誘致・支援することで、雇用の場を増やし、県民所得の向上につなげます。

離島振興対策

令和8年度末に期限を迎える「有人国境離島法」の延長・拡充に取り組めます。本土よりも価格が高い生活物資の物流対策、高速船ジェットフォイルの更新のほか、脱炭素社会の実現に向けたクリーンエネルギー「水素」の生産など新たな産業を育成し、持続可能な離島社会の構築を目指します。



保育と教育の推進

保育士配置基準の一層の改善や「こども誰でも通園制度」の円滑な導入など、人口減少時代に対応した保育政策に取り組めます。児童・生徒に向き合う教育の推進のため、教員の負担軽減を図り、食育の観点から栄養教諭の配置や給食費無償化の課題に取り組めます。また、いじめ撲滅のために自治体の首長部局も関与するシステムを構築します。

持続可能な社会保障の確立

少子高齢化で人口ピラミッドの逆三角形化が進む中、社会保障を持続可能にするため、希望者は再雇用を含め70歳まで働ける社会の構築に取り組めます。また、社会保障を支える医療、看護、介護、福祉分野の人材育成・確保のため処遇の改善を図ります。

文化・観光・スポーツ施策の振興

ながさきピース文化祭2025を通じた地域文化の振興のほか、「鷹島神崎遺跡」を活用した水中考古学の推進に取り組めます。世界遺産やジオパーク等の本県の観光資源、私が担当する大阪・関西万博を通じたインバウンド誘客や国内交流を活かし、観光業の振興を図ります。また、eスポーツを含むスポーツ振興に取り組めます。



防災・減災、国土強靱化の推進

新たに策定する国の国土強靱化実施中期計画において、現行の15兆円を上回る事業規模を確保し、地震や激甚化する風水害、老朽インフラ対策など防災・減災、国土強靱化に取り組めます。また、消防団活動など地域防災力の充実強化を図ります。

核兵器廃絶と安全保障政策の推進

核兵器のない世界の実現と、安全保障3文書に基づく防衛力の抜本的強化に取り組むほか、自衛官の処遇や居住環境の改善を図ります。また、動き始めた「前畑弾薬庫の移転問題」について引き続き取り組めます。



長崎の声を国政へ